令 和 8 年 10 月

関　係　各　位

守 山 消 防 署 長

秋の火災予防運動の実施について（お願い）

空気が乾燥し火災が発生しやすい時季であることから、名古屋市では、下記のとおり「秋の火災予防運動」を実施いたします。

火災の発生を知らせる住宅用火災警報器の設置維持管理など、様々な面から火災予防の推進を図ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

記

1　実施期間

令和 8 年 11 月 9 日（月）から 11 月 15 日（日）までの 7 日間

2　重点目標

⑴　住宅防火対策の推進

⑵　特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

⑶　地震火災対策の推進及び地域ぐるみの防火・防災対策の強化

3　推進機関

名古屋市消防局、守山消防署、守山区消防団連合会

4　協力団体（順不同）

守山区防災安心まちづくり委員会、守山区防火管理者協議会、守山区危険物安全協会、守山区防火協力会　等

5　令和 8 年　秋の火災予防運動啓発ポスター



＜B2・A3 サイズポスター＞



＜B2 サイズポスター＞

2026 年度全国統一防火標語　『火の確認　いい日を支える　いい習慣』



家庭・地域の防火



住宅防火対策



◎　寝室、台所、寝室のある階の階段への住宅用火災警報器の設置及び点検の促進

◎　設置から約 10 年経過した住宅用火災警報器の交換の促進

◎　住宅用消火器の設置促進、防炎品の使用の普及啓発等

◎　リチウムイオン電池をはじめとする電気器具類の適切な使用及び管理の徹底



◎　たばこによる火災の防止

◎　暖房器具、こんろなど火気使用器具の適切な取扱い

◎　安全装置付きの火気使用器具の普及促進

地震火災対策



◎　家具等の転倒防止対策（寝室を優先）

◎　感震ブレーカーの設置

◎　停電復旧時の通電火災防止対策

地域ぐるみの防火・防災対策



◎　高齢者等要配慮者に重点を置いた死者発生防止対策の推進

◎　放火されない環境づくり及び巡回・広報

◎　地震、台風等の自然災害時における出火防止対策と自助力（災害時に生き延びる力）向上に向けた取組み




11.9(月)
～11.15(日)
秋の
火災予防運動
火の用心
守山消防署

名古屋市消防局からのお知らせ

住宅用火災警報器 点検していますか？



「付いていてよかった！」住宅用火災警報器！

過去10年間※で

326件

住宅用火災警報器の鳴動音等により火災を早期発見でき、**被害の防止・軽減**につながりました。

※2016年～2025年

実際に起きた事例



就寝中に警報音で火災に気付いた



調理中にその場を離れ、警報音で鍋の空焚きに気付いた



外出中、警報音に近隣の人が気付いてくれた

「いざ」というときのために・・・

定期的に点検！

ボタンを押す、またはひもを引いて音が鳴るか確認しましょう。

ボタンを押す



ピーピーピー
火事です

ひもを引く



ピピ、
ピーピーピー

10年経過したら交換！

古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。10年を目安に本体機器ごと交換をお願いします。



リチウムイオン電池による火災に注意！

モバイルバッテリーなどに使用されているリチウムイオン電池に起因する火災が発生しています。

火災を防ぐ 3つのC



1 賢く選ぶ(Cool choice)

- 購入前に、販売事業者の連絡先や製品情報などを確認する
- PSEマークやリサイクルマークのある製品を選ぶ
- 充電器やバッテリーは、メーカー推奨の物を使う



2 丁寧に使う(Careful use)

- 強い衝撃や圧力を与えない
- 高温になる場所では使用・保管しない
- 膨張など異常を感じたら使用を中止する



3 正しく捨てる そして資源循環 (Correct disposal With better recycling)

- 廃棄する前には電池を使い切る
- 廃棄方法を確認する
- 小型家電回収ボックスなどを活用する



※イラストは、一部生成AIにより作成しています。

住宅用火災警報器は大切な命を守ります。
設置・点検・交換で安心・安全な住まいに！

守山消防署予防課
052-791-0119